

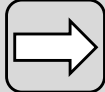
「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和5年1月判断)

財務省

令和5年1月31日

地域経済の全局判断（令和5年1月判断）

1. 全局総括判断

前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	基調比較
供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	 据え置き (表現変更)

- 「全局総括判断」は、前回（4年10月）から判断を「据え置き」とした。

2. 各項目の判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
 - 「個人消費」は、物価上昇の影響はみられるものの、緩やかに持ち直している。
 - 「生産活動」は、物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
 - 「雇用情勢」は、持ち直している。

3. 先行き

- 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

(注1)5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(注2)下線部が基調判断。

各地域の「総括判断」の比較

	令和4年10月判断		令和5年1月判断	
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	→	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	→
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	<u>緩やかに持ち直している</u>	→
関東	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→ (表現変更)
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	<u>緩やかに持ち直している</u>	→
東海	<u>緩やかに回復している</u>	→	<u>緩やかに回復している</u>	→
近畿	<u>持ち直している</u>	→	<u>持ち直している</u>	→
中国	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	<u>持ち直している</u>	↗
四国	<u>持ち直しつつある</u>	→	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
九州	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	<u>持ち直している</u>	↗
福岡	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	<u>持ち直している</u>	↗
沖縄	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗	<u>持ち直している</u>	↗

各地域の令和5年1月の「総括判断」は、5地域で「上方修正」、6地域で「据え置き」

(注1) 下線部が基調判断。

(注2) 矢印は、前回との基調比較。

各地域の「個別項目」の比較

個人消費

生産活動 ※沖縄は「観光」

雇用情勢

	個人消費			生産活動			雇用情勢		
	前回 (令和4年10月判断)	今回 (令和5年1月判断)		前回 (令和4年10月判断)	今回 (令和5年1月判断)		前回 (令和4年10月判断)	今回 (令和5年1月判断)	
北海道	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇒	足踏みの状況にある	弱含んでいる	⇩	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇧
東北	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	⇩	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
関東	緩やかに持ち直している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	⇒ (表現変更)	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	⇩	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	⇒
北陸	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	⇧	緩やかに回復しつつある	回復に向けた動きに一服感がみられる	⇩	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
東海	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、回復の動きに一服感がみられる	供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、足踏みの状況が続いている	⇒ (表現変更)	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	⇒
近畿	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧	持ち直している	持ち直している	⇒	持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒
中国	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	⇒	持ち直している	持ち直している	⇒
四国	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	⇧	持ち直しのテンポが緩やかになっている	横ばいの状況にある	⇩	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
九州	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧	持ち直している	緩やかに回復しつつある	⇧	持ち直している	持ち直している	⇒
福岡	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	⇒	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	⇧
沖縄	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	⇧	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧	緩やかに持ち直している	持ち直している	⇧

7 地域で「上方修正」、4 地域で「据え置き」

2 地域で「上方修正」、4 地域で「据え置き」、
5 地域で「下方修正」

3 地域で「上方修正」、8 地域で「据え置き」

「個別項目」の特徴的な動向

1. 個人消費 ※7地域で「上方修正」、4地域（北海道、東北、関東、東海）で「据え置き」

- 「スーパー販売」は、価格高騰により低価格品へのシフトなど節約志向がみられるものの、商品単価・客単価の上昇などにより、売上は堅調である。
- 「百貨店販売」は、水際対策緩和からインバウンド需要が回復しつつあるほか、高額品なども引き続き堅調となった。
- 「コンビニエンスストア販売」は、全国旅行支援による観光地などでの人流増加に伴い、売上は好調である。
- 「ドラッグストア販売」は、物価上昇による消費マインドの低下がある一方、感染者数の増加により、抗原検査キットや風邪薬などが好調となった。
- 「家電販売」は、動画コンテンツの普及によりテレビ等の需要が減っているが、電気代高騰により省エネ性能の高い製品の需要が好調となっている。
- 「ホームセンター販売」は、巣ごもり特需であったDIYやインテリア用品が不調となっている。
- 「新車販売」は、若干の納期の改善がみられるものの、部品不足の影響は残っている。一方、受注状況は引き続き堅調である。
- 「サービス消費（宿泊や旅行等）」は、燃料高などの影響から海外旅行は伸び悩んだものの、国内旅行は全国旅行支援が後押しとなり好調となった。

2. 生産活動 ※2地域（九州、沖縄）で「上方修正」、4地域（東海、近畿、中国、福岡）で「据え置き」、5地域で「下方修正」

- 「自動車」は、半導体等の部品不足が徐々に緩和されてきており、生産が改善しつつある。
- 「電子部品・デバイス」は、家電向けなどで受注が弱まっている一方、車載向けなどは国内外で需要が好調となっている。
- 「化学」は、国内では半導体不足による自動車減産の影響などでやや足踏みのような需要であるほか、海外での製品市況の動向が見通しづらい。

3. 雇用情勢 ※3地域（北海道、福岡、沖縄）で「上方修正」、8地域で「据え置き」

- 経済活動が再開する中、製造業・サービス業を中心に、人手確保の動きが続いており、パート職員が集まりにくいことがある。
- 宿泊業を中心に、全国旅行支援が開始されてから、さらに人手が足りておらず、他部署から応援を充てたり、稼働率を下げるなどで対応している。

企業等の主な声

個人消費

< 財消費 >

- 価格高騰により、買上げ点数の低下や低価格品へのシフトといった節約志向の動きがややみられるものの、客単価は前年比プラス圏で推移しており、全体の売上高も上昇傾向で推移している。【スーパー・中小・東海】
- インバウンド消費は、12月以降回復し、ブランド品や食料品が好調。国内客は、感染拡大の影響がややみられたものの、クリスマスはコロナ後最大の来客となった。【百貨店・大・北海道】
- 旅行客の増加により、観光地周辺や駅、空港などの店舗で客足が戻っており、弁当やおにぎり、パンの売れ行きが好調。冷凍食品などの中食需要も引き続き堅調である。【コンビニ・中小・九州】
- 感染者数の増加により、抗原検査キットや咳止めなどの風邪薬が好調。【ドラッグストア・大・東北】
- インターネットで各種コンテンツを視聴する顧客層の拡大などによって、テレビやDVDレコーダーの動きが鈍くなっている一方、エネルギー価格の高騰により、省エネ性能の高い高付加価値商品の需要が高まっている。【家電販売・大・四国】
- インテリア用品や工具といった耐久消費財は、巣ごもり特需の反動や商品値上げによる買い控えで不調となっている。【ホームセンター・中堅・中国】
- 引き続き納車までの期間は長いものの、一部車種では若干の改善がみられている。また、受注は順調に推移している。【自動車・中小・北陸】

< サービス消費 >

- 全国旅行支援の影響は大きく、ADR（客室単価）はしっかり上がっている。地域クーポンについても、ホテルで発行した分の5割は、ホテル内のレストランや売店で使用されている。【宿泊・中堅・沖縄】
- 国内旅行は、全国旅行支援が後押しとなり盛況となった。海外旅行は、円安、燃料高の影響もあり伸び悩んだ。【旅行・中堅・近畿】
- 外出機会の増加により、ロードサイド店の売上が増加している。【飲食サービス・大・福岡】

生産活動

- 半導体をはじめとした部品不足の影響は継続しているが、徐々に緩和されてきており、生産量は増加している。【輸送機械・大・関東】
- 世界的なインフレや景気後退懸念からスマートフォン向けは需要の強さに欠けるほか、パソコン向けも在宅ワークでの特需の反動などから弱い。データセンター向けも足下で落ち着いてきている。【電子部品・デバイス・中小・東北】
- スマートファクトリー化や自動運転の進展を背景に、高付加価値製品の需要が増えるなか、高操業を続けている。【電子部品・デバイス・中堅・九州】
- 半導体不足による自動車生産の落ち込みの影響などにより、生産量が減少している。【化学・大・四国】
- 主力の半導体製造装置部門は、前期並みの高水準で推移している。ただし、半導体の需要低迷の兆しがあり、一部の顧客からは出荷を後ろ倒しにするよう依頼が来ている。【生産用機械・大・近畿】
- 自動車向けが復調傾向にある一方、中国の鋼材需要は引き続き低調で先行き不透明感が強い。もっとも、大手取引先と値上げで合意したことや、価格転嫁のタイムラグを小さくするなど、収益構造の改善に取り組んでいることにより、事業環境が低迷するなかでも一定の利益を確保できている。【鉄鋼・大・福岡】
- ビル用建材については首都圏向けを中心に動きがみられるものの、持家の着工戸数が減少傾向にあることから、住宅用建材やエクステリアの動きが鈍くなっている。【金属製品・大・北陸】

雇用情勢

- 経済活動が再開する中で、製造業、サービス業含めて人手確保の動きが続いており、想定6~7割程度しか採用できないこともある。【小売・大・東海】
- 人手不足により人件費が高騰しているなか、現場の技術職が足りず、派遣会社経由で人員を確保している。また、同業他社からも人材派遣を依頼されたり、工事自体を委託されることもある。【建設・中堅・北海道】
- 人手不足は変わらず時給を上げ募集するも、全く応募がない。いる人員で対応できる稼働に抑えている。【運輸・中小・沖縄】

注) 各財務局は企業等へのヒアリングを主に令和4年12月中旬から令和5年1月中旬にかけて実施。

各地域の「先行き」（令和5年1月）

北海道	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇、供給面での制約等の影響に十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
北陸	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
東海	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外経済の下振れが景気の下押しリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
中国	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
九州	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
福岡	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。
沖縄	先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>